

慣用句 知っているかな？②

名前()

慣用句：二つ以上の言葉が結びついて、ある決まった意味を表す言葉。
体の部分が使われているもの以外にも多くの慣用句があるよ。

○次の慣用句の意味を下からえらび、線でつなごう。

白紙にもどす ・ くやしいことやつらいことをじっと我慢する。

涙を飲む ・ わずかな時間でもできるほど、簡単でたやすいこと。

馬が合う ・ もとの何もなかった状態にもどす。

朝飯前 ・ お互いに気持ちがあつたり合い、相性がいいこと。

○①～③の線の慣用句の意味をあとのからえらび、記号で答えよう。

① 授業中に、先生の話を上の方で聞いていて注意を受けた。()

② 彼は、その道のプロが太鼓判を押すほどの腕前だ。()

③ 気が置けない仲間と旅行に行く。()

④ 年末の大売り出しの準備で猫の手も借りたいほどだ。()

ア 緊張やえんりよなどの気遣いが必要なく、親しく付き合えること。

イ ほかにのことに気をとられていて、今必要なことに注意が向かないこと。

ウ とても忙しくて、誰でもよいから手伝ってほしい。

エ 間違いない、確実にであると保証すること。

慣用句 知っているかな？②

名前() 答え()

慣用句：二つ以上の言葉が結びついて、ある決まった意味を表す言葉。
体の部分が使われているもの以外にも多くの慣用句があるよ。

○次の慣用句の意味を下からえらび、線でつなごう。

- 白紙にもどす
- 涙を飲む
- 馬が合う
- 朝飯前
- くやしいことやつらいことをじっと我慢する。
- わずかな時間でもできるほど、簡単でたやすいこと。
- もとの何もなかった状態にもどす。
- お互いに気持ちがあつたり合い、相性がいいこと。

○①～③の線の慣用句の意味をあとのからえらび、記号で答えよう。

- ① 授業中に、先生の話を上(う)の空(そら)で聞いていて注意(ちゆうい)を受けた。(イ)
- ② 彼は、その道(みち)のプロ(プロ)が太鼓判(たいこばん)を押(お)すほどの腕前(うでまえ)だ。(エ)
- ③ 気が置(お)けない仲間(なかま)と旅行(りょこう)に行く。(ア)
- ④ 年末(ねんまつ)の大売(おお)り出し(だし)の準備(じゆんび)で猫(ねこ)の手(て)も借(か)りたいほどだ。(ウ)

- ア 緊張(きんちやう)やえんりよなどの気遣(きづか)いが必要(ひつよう)なく、親(した)しく付(つ)き合(あ)わせること。
- イ ほかのことに気(き)をとられていて、今(いま)必要なこと(じゆんぎやう)に注意(ちゆうい)が向(む)かないこと。
- ウ とても忙(いそ)がしくて、誰(だれ)でもよいから手伝(てつだ)ってほしい。
- エ 間違(まちが)いない、確(かく)実(じつ)であると保(ほ)証(じよう)すること。